

健康教育実習

I. 目的

集団を対象に健康教育を実施できる能力を養う。

II. 目標

1. 集団の健康教育における教育計画を立案し、実施・評価できる。
2. 健康教育を効果的にするための技法（カウンセリング技法、集団教育技法）の知識を活用できる。
3. 対象者のレディネスを把握し、ニーズを充足できるよう考慮した指導計画を作成し実施できる。
4. 健康教育の評価ができる。

III. 実習施設

NHO 岡山医療センター

IV. 単位数および時間数

1 単位 45 時間

V. 教育内容

1. 集団指導の企画・運営・評価

VI. 実習目標・行動目標・実習内容

実習目標	行動目標	実習内容
<p>1. 集団の健康教育における教育計画を立案し、実施・評価できる。</p>	<p>1. 集団の健康教育を企画できる。</p> <p>2. 集団の健康教育を運営できる。</p>	<p>1. 集団の健康教育の企画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育計画の基本 2) 対象者のニーズとアセスメント 3) 学習・教育目標の設定 4) 教育内容の設定 5) 組織図 6) スケジュール計画 7) 参加者募集計画 8) 教育方法の選択 9) プログラム案作成 10) 指導内容・計画および指導案作成 11) 物品、教材作成、予算 12) リハーサル計画 13) 当日の運営計画、役割分担の計画 14) 評価計画 <p>2. 集団の健康教育の運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 運営計画と役割分担 2) 当日の運営計画と調整 3) 指導内容の検討、担当者間の調整 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設方針、病棟指導者との調整 (2) 最新情報の確認 4) 広報、参加者募集活動 5) 本番リハーサル 6) 当日運営と臨機応変の対応
<p>2. 健康教育を効果的にするための技法（カウンセリング技法、集団教育技法）の知識を活用できる。</p>	<p>1. 健康教育の技法の知識を活用して指導を実施できる。</p>	<p>1. 健康教育の技法の知識を活用した指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理論的基盤 成人学習理論、女性中心のケア、家族中心のケア セルフケア理論、エンパワーメント、意思決定支援 保健行動モデル、継続ケア、動機づけ 2) 教育技術の基本 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習者のレディネスのアセスメント (2) 場づくり 3) 相談・教育の技法 <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーション技法 (2) カウンセリング技法 ピアカウンセリング、ファシリテーター役割 (3) 講義・演習・相互作用の運営 (4) 教材・媒体の工夫 4) 集団指導におけるアプローチ
<p>3. 対象者のレディネスを把握し、ニーズを充足できるよう考慮した指導計画を作成し実施できる。</p>	<p>1. 指導計画に基づいて指導を実施できる</p>	<p>1. 指導計画に基づく指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者のニーズ、アセスメント 2) 指導の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指導案の作成 (2) 教材作成 (3) 評価計画 3) 集団指導の運営

		<ul style="list-style-type: none"> (1)参加者受付 (2)プログラム運営 (3)安全管理 (4)物品管理 (5)リーダーシップ、メンバーシップ
4. 健康教育の評価ができる。	1. 健康教育の評価ができる。	1. 健康教育の評価 <ul style="list-style-type: none"> 1)形式評価・結果評価・総括評価 (1)参加者の評価 (2)自己評価 (3)教育評価：指導目標の達成度 (4)運営評価